



協賛：日本物理学会、電気学会、電子情報通信学会、日本化学会、電気化学会、高分子学会（申請中）

「次世代太陽エネルギー変換デバイスの研究開発を支える先端計測」

有機半導体や有機・無機・金属などのナノ粒子を用いた次世代太陽エネルギー変換デバイスとして、有機薄膜太陽電池、増感型太陽電池、ナノ粒子光触媒（いわゆる人工光合成）などが注目されています。これらは安価な次世代デバイスとして期待されている一方、構造、エネルギー状態、反応ダイナミクスが複雑であり、それらの制御が困難であるという問題を抱えています。制御のためには現状を的確に把握することが重要であり、そのための各種先端計測法の開発が進んでいます。M&BE分科会では、これらデバイス材料やデバイスそのものを分析する様々な計測技術に関する基礎から研究の最先端まで、包括的な情報を提供する場として、本講習会を企画します。

日時： 2015年11月6日（金）

場所： 国立大学法人 電気通信大学 付属図書館 301室 マルチメディアホール（93名）
 〒182-8585 東京都調布市調布ヶ丘1丁目5-1

http://www.lib.uec.ac.jp/modules/outsider/index.php?content_id=3

■ プログラム

2015年11月6日（金曜日）	
9:55 ～ 10:00	～開会の挨拶～ 徳島大・古部昭広
10:00 ～ 11:00	エネルギー変換に資する表面/界面反応の先端計測の現状と将来【基調講演】 物質・材料研究機構・魚崎浩平
11:00 ～ 11:40	光触媒反応解析のための蛍光プローブおよび化学発光計測 長岡技術科学大学・野坂芳雄
～昼食～	
13:00 ～ 13:40	電気化学的測定手法を活用した色素増感太陽電池の研究開発 産業技術総合研究所・村上拓郎
13:40 ～ 14:20	ESRを用いた有機太陽電池の劣化メカニズム解明 筑波大学・丸本一弘
～休憩～	
14:40 ～ 15:20	時間分解吸収・発光分光による有機光デバイス材料の解析 産業技術総合研究所・松崎弘幸
15:20 ～ 16:00	量子ドット太陽電池の多重励起子生成の解析 電気通信大学・沈 青
～休憩～	
16:20 ～ 17:00	超短パルスレーザーを利用した光機能性物質の動的観測 東京工業大学・恩田 健
17:00 ～ 17:40	局在プラズモンを用いた人工光合成の構築と光電子顕微鏡による緩和過程の追跡 北海道大学・三澤弘明
17:40 ～ 17:45	～閉会の挨拶～ 北海道大学・三浦篤志
18:00 ～	懇親会

■ 参加費・テキスト代（消費税含む）

	一般	学生
M&BE分科会個人会員	6,000円	3,000円
応用物理学会・協賛学会個人会員 またはM&BE分科会賛助会員	8,000円	*4,000円
上記以外	*10,000円	*5,000円

* 予めご入会頂けると同額あるいは割安でご参加頂ける場合がありますので、この機会にM&BE分科会へのご入会をご検討下さい。
 詳しくは下記分科会担当（岡山）までお問い合わせ下さい。
 ** 懇親会参加費：実費4,000円/当日お支払い下さい。

■ 定員：80名

■ 申し込み方法：

M&BE分科会ホームページよりお申し込み下さい
<http://annex.jsap.or.jp/support/division/MandBE/sym/index.html>

■ 申し込み〆切：10月23日

■ 内容問合せ先：

古部昭広（徳島大学）
 E-mail: furube.akihiro@tokushima-u.ac.jp

■ 参加問合せ先：

応用物理学会 分科会担当 岡山昇平
 E-mail: divisions@jsap.or.jp

■ 講習会世話人：

古部昭広（徳島大学）
 三浦篤志（北海道大学）
 沈 青（電気通信大学）
 西川雅美（長岡技術科学大学）